

(3) 協 議

「神奈川県としてめざす小中一貫教育校の在り方」について (1) 神奈川県としてめざす小中一貫教育校の「すがた」

【教育課程及び指導内容等について】

一人一人の多様な教育的ニーズに応え、共に学び、共に育つインクルーシブな視点で児童・生徒の学びと育ちを促す学校

児童・生徒が多様な在り方を認め合い、尊重し、支え合い、様々な教育活動に意欲的に参加する学校

小学校と中学校がそれぞれの地域の特色を踏まえた一つの学校教育目標のもとに、9年間のつながりを持った学習方法などを、教職員と児童・生徒が共有しながら系統性のある教育活動を進める学校

発達の段階に即した学習規律や生活目標、学校のきまり等を共有することで、児童・生徒への指導方針がぶれずに教育活動を進める学校

複数の教職員が小・中学校を問わず継続的に児童・生徒に関わることで、児童・生徒の日常生活や学習状況を的確に把握し、その情報を共有し、指導につなげる学校

【学校の組織・運営について】

小・中学校の校舎等施設を共有しているか否かにかかわらず、義務教育9年間全期間にわたり、一体感を持って子どもたちを育む学校

小・中学校の児童・生徒が共に活動することで、学校行事や部活動などが活発化した活力のある学校

小学校1年生から中学校卒業後を見据え、中・長期的な目標に基づいた支援をつなげる学校

【地域コミュニティとの関係について】

地域資源のネットワーク化を図り、それぞれの地域の実態に応じた協働を通して、9年間を過ごす児童・生徒の成長を育む地域の核となる学校

【その他】

小・中学校の校舎・施設が離れている場合、「一つの小学校と一つの中学校」、「複数の小学校と一つの中学校」、「複数の小学校と複数の中学校」と様々な立地条件が考えられる。その場合でも、定期的な授業交流や合同行事の実施など児童・生徒間、教職員間の人間関係・信頼関係を深めることを通して、共有した教育目標の実現をめざす学校